

# 不帰のキレット～白馬三山縦走記

2013.8.7 (水) ～9 (金) 5名で

今年最初の山行です。新潟から3名、松本から1名の5人グループです。天候にもまあまあ恵まれ、事故・怪我も無く、小屋も貸切状態、多くの高山植物に癒されての楽しい山行になりました。心配した膝・腰もあまり痛まずでしたが、矢張り膝を筋肉がかばうせいかな今までとは逆に登りがきつくなってきました。6月に購入した一眼レフカメラの取り扱い説明書もほとんど見る事が無く、出発まで持参すべきか今までのデジカメにしようか悩んだり、登山計画書(届)も車の中に忘れてたり準備不足やミスもあり反省点も多かったです。集中力がなくなっているようです。

8/7 白馬八方 9:20～ Gondola・リフト～10:30 八方池山荘～11:30 八方池(昼食) 12:00～13:40 丸山ケルン～14:40 唐松岳頂上山荘(泊)

8/8 5:40～6:00 唐松岳 ～8:35 不帰1峰 8:50～9:10 不帰のキレット 9:20～11:50 天狗山荘(昼食) 12:50～17:00 村営白馬岳頂上宿舎(泊)

8/9 6:10～6:40 白馬岳 6:55～10:20 白馬大池(昼食) 11:15～13:05 天狗原 13:40～14:40 梅池自然園～ 14:55 (ロープウェイ・ゴンドラ)～15:30 梅池高原～タクシーで白馬の駐車場へ～16:00「倉下の湯」入浴 16:55 解散～17:40 帰宅

9:30 に白馬八方の第三駐車場に集合でしたが、9:00 前には集合完了し早速支度してゴンドラ乗り場まで歩き、ゴンドラ・リフトの乗継で八方池山荘前に到着する。時期柄大勢のハイカー・登山者・観光客で賑わっている。八方池目指して歩く。花の多い登山道(遊歩道?)で秋に来ては花を楽しめる所だ。今年はコバイケイソウの当たり年との事で何処でも沢山咲いていた。八方池も賑やかだが昼食休憩する場所には困らなかった。明日歩く難所の「不帰のキレット」が眼前に大きく見える。「不帰の人」にならずに無事通過しよう。キレット越えてからの「天狗の大下り」の登りが高度差があり大変だろう。歩き易い花の多い登山道を唐松小屋目指して歩く。この辺から見る五竜岳はとて大きくて立派である。

左 鹿島槍ヶ岳と右は五竜岳



八方池と不帰のキレット



明日歩く不帰のキレット



森林限界に



女性陣は皆花好きなので立ち止まっての写真撮影の回数が多い。それでも予定より1時間早く小屋に到着する。目の前に大好きな剣岳を眺める小屋だ。今年の秋に歩きたい「祖母谷温泉」へのルートが見える。この小屋は「予約」するのを嫌う？珍しい小屋である。2度予約の電話をしたがとうとう予約は受け付けなかった。去年の八ヶ岳の嫌な「小屋」の件を思い出す。この差はなんなのだ！。ある意味で合理的かも。例えば予約した登山者の到着が遅れた時に一体小屋は心配して何らかの対応をするのだろうか？ 小屋はユックリ一角を確保されて一安心する。食堂で生ビールで乾杯するが夕食の配膳の関係でユックリはできずに、部屋に戻って飲み直しする。夜中に目を覚ますと星がとても綺麗だった。

5:00からの朝食で5:40に小屋を出発する。今日はコースタイムが8時間10分とチョット長めなので早立ち。想定外のガスと強風の悪天候！これ以上風が強いと難所の通過は危険だ。唐松岳を過ぎていよいよキレット越え。

唐松岳山頂



不帰のキレットに突入です。



不帰2峰何峰で小休止

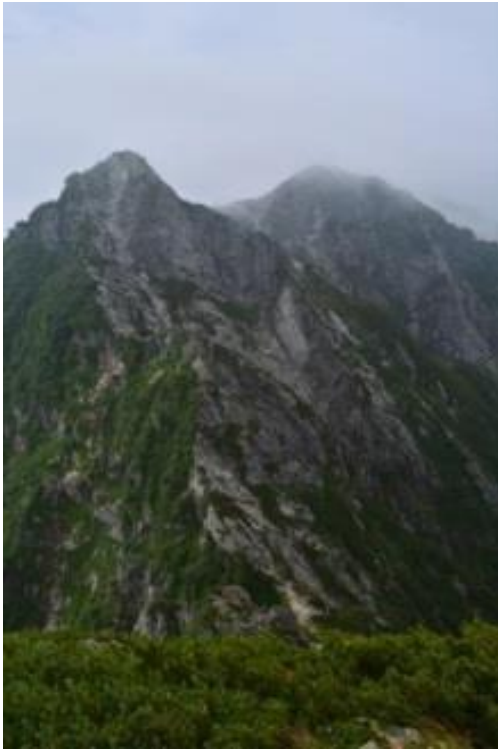


不帰1峰の頭





岩場は続きます



山を始めた頃（30年位前）に一度大雪渓を登り天狗山荘に泊まりこのキレットを超えて八方に下った事があったが、先行者が滑落しそうになってザックを落としたのを目撃した日く付きのルートだ。でもルートを変えたりしたのか危険を感じる箇所は皆無であった。天気も回復してきた。天狗の大下りを登り稜線に出る。

天狗の大下りを登り、天狗の頭に到着



あとは標高差の小さいアップダウンの

みだ。懐かしい天狗山荘に到着する。前回は稜線からこの小屋に下る雪渓が急で苦労したのを思い出す。今は雪渓を通らずに下れるようになっていた。ウルップソウもここには「見頃」なのが見られた。

独特の灰色した白馬鑓ヶ岳と天狗山荘



ウルップソウとヨツバシオガマ



（今回のルートには沢山群生していたがほとんど時期が遅かったが）独特の灰色した白馬鑓ヶ岳を眼前に昼食・大休止。飲み水を補充して白馬鑓ヶ岳～杓子岳とコマクサ・ウルップソウなどが群生する高山植物を登山道の左右に眺めながら歩く。残念なのは劔岳がシッカリ顔を出していない事。3年前は快晴で毛勝三山～劔～立山を眺めながらの縦走だったが。花見と写真撮影に時間がかかり、電池が終わってしまったOさん、同じく予備のカメラに切り替えたSさん。特にSさんは花に詳しいのでつい花の名前を聞いてしまう。今回も「高山植物図鑑」を持参したけどほとんど開く事がなかった。

子連れの雷鳥



ミヤマアケボノソウ



これではマズイ、今回の山行の最大の反省点だ。Sさんから綺麗な写真付きの「メルマガ」を頂いたが今回の山行では、何と 98 種類の花を確認したと書かれていた。一日のコースタイムを 6 時間以内にしてもっとユックリ花を楽しむ登山計画も必要かと思った。特に花に詳しい人が今回のように同行者にいる時はなおさら必要だ。村営白馬頂上宿舎は 5 回目になるが気に入っている小屋の一つだ。バイク方式の食事・部屋はユックリで詰め込まないなどが理由で。今回も大きな部屋を 5 人で貸切だった。水も自由に使えるし。寝る前だけは歯を磨きたい。



最終日も出発時はガスと強風。白馬山頂からは何も見えず。そのうちに風もおさまり、視界も良くなったが。雪倉岳や懐かしい「鉱山道」を見ながら下る。朝日岳・明星山なども見える。梅池自然園を見おろし、白馬大池も見えてくる。

白馬大池



## ハクサンコザクラ



ハクサンコザクラの群生地を堪能し白馬大池小屋で昼食・大休止。悪い癖で又缶ビールを飲んでしまう。此処からは大石などが多い歩きズライ登山道が延々と続く。ストックを上手に使い、膝の負担を少なくしながら下山。天狗原でコーヒータイム。持参したガスの2回目の出番。オニシオガマが最後の花でロープウェイ～ゴンドラ乗継で柵池高原に。タクシーで白馬八方の駐車場へ、「倉下の湯」に初めて入る。温泉らしい色をした湯だが、温泉が露天風呂のみなので、冬季は寒いと思う。女性陣には大変お世話様になりました。今回は下山時もザックは同じ重さでした。持参したつまみなどが減らなかったからです。美味しいおつまみや副食などご馳走様でした。正直言って8・9日の朝方のガス・強風は想定外。でも考えようで今年は梅雨明け以降 8/6日まで天候が悪く、10日以降今日もアルプスはハッキリ顔を出しません。3日間天候に恵まれたのかも。勤務（仕事）も9月上旬まで、以降の山行計画も未だ未作成、低下した体力にあった計画を早く作らねば。(8/13 記)